

NST・褥瘡対策委員会では、褥瘡または栄養にまつわる勉強会を行っています。
11月は、MSD株式会社 高井亮任氏より「インクレチン」についての勉強会でした。

インクレチンについて

インクレチンとは？

- 炭水化物や脂質の経口摂取に引き続いて腸管から 分泌されるホルモン。
- 血糖上昇時にインスリン分泌を促進し、また、グルカゴン分泌を抑制*することにより血糖値を低下させる。
- GLP-1 (Glucagon like peptide-1)、GIP (Glucose-dependent insulinotropic polypeptide) の2種が同定されている。

*：グルカゴン分泌抑制は GLP-1 のみに認められる。

インクレチンは

食事摂取の腸管刺激によって分泌されて機能を発揮。

(膵臓に作用してインスリン分泌及びグルカゴン分泌をコントロールします)

- **インクレチン関連薬は新たな治療の選択枝として使用されつつあります。**

当院採用のインクレチン関連薬

=内服薬=

- ✓ ジャヌビア
- ✓ エクア
- ✓ トラゼンタ
- ✓ ネシーナ (院外処方のみ)

=アナログ製剤=

- ✓ バイエッタ
- ✓ ビクトーザ

があります。



食べる順序も大切です。

脂肪や蛋白質の前摂取は GLP-1 分泌の刺激や胃排出の遅延により、2型糖尿病の食後血糖上昇を抑制します。したがって、脂肪や蛋白質に富む副食から先に摂取し、最後に糖質に富む主食を摂取することで、食後血糖の上昇を抑制することができると考えられます。

次回の NST・褥瘡勉強会予定

12月13日(木) 18時～19時 医学部第二臨床講堂にて、
「創傷被覆材について」をテーマに勉強会を行います。